

令和5年3月10日

足立区立蒲原中学校

校長 根本 幸男 様

足立区立蒲原中学校 開かれた学校づくり協議会

会長 四宮 友彬

令和4年度 学校関係者評価書

1 自己評価書（学校経営計画・自己評価書）全般について

- ・人権学習週間の実施により、正しい人権感覚を身につけた生徒が増えている事が評価できる。
- ・蒲原中生徒の授業態度、身だしなみ等が年々良くなっている事が、授業参観で実感できた。学力調査の結果も、向上している。
- ・ICT機器を活用した授業をどの先生も実施されている。反面、ICT機器に頼りすぎる授業になることを懸念する。
- ・生徒アンケートでは、「学校のきまりを守って生活している。」に肯定的な答えをした生徒が98.5%で特筆すべき数字になっている。規範意識は引き続き育ててほしい。
- ・生徒アンケートから、生徒が先生を信頼していることがわかる。
- ・朝、毎日行われる「学びタイム」は有効に活用されていると感じる。
- ・廊下や教室などを見ると、学校がきれいと感じた。教室に貼られている掲示物に工夫を感じる事ができた。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

- ・年々生徒は真面目になっている。静かなだけでなくいきいき授業を受けている。
- ・「音楽の夕べ」などで発表する生徒から、蒲原中生の表現力の豊かさを感じる。
- ・今年度はコロナ禍でも学校行事を全て行ったことは評価できる。
- ・コロナ禍が落ち着いたら、地域に愛着をもち、地域行事に積極的に参加できる生徒を育ててほしい

3 その他

- ・来年度は、新型コロナウイルスに影響されない学校運営ができることを祈っている。